

2024年12月期 第1四半期 決算説明会 質疑応答の要約

2024年5月8日(水)に開催した2024年12月期 第1四半期 決算説明会において、出席者の皆さまからいただいた質問をまとめたものです。弊社代表取締役社長 佐藤、常務取締役CFO 五十島より回答させていただきました。

なお、回答内容につきましては、文書化するにあたり、IR担当より補足加筆させていただいております。

Q1. ホスティング事業は、高単価プランの成長があり、第1四半期は好調に推移したとご説明いただきましたが、昨年実施した価格改定の効果は一巡する時期だと思えます。今後の見通しはどのように考えていますでしょうか。

A1. 期初のホスティング事業の業績予想から変更はありません。一方で、「ロリポップ!for Gamers」は業績予想に含んでいないため、今後の新規契約が取れて伸びてくるようであれば、プラスされてくるほか、今後法人向けの新しいプランの提供を予定しており、これまでのような価格帯の低いものよりは価格の高いものを提供していきたいと考えています。「ムームーサーバー」や「ロリポップ!for Gamers」などの新しいサービスの契約件数が伸びて全体の契約件数が純増になれば今後高い成長が見込めると考えています。(佐藤)

Q2. 新規事業「GMO即レスAI」に関して、今後ストック型収益の積み上げにもつながる事業だと思えますが、現在の受注状況など初動を伺いたいです。

A2. 3月にサービス開始を発表し、今は商談を進めている状況です。現時点で多くの引き合いをいただいておりますが、AIのデータ蓄積や導入に向けた対応を進める必要がありますので、第2四半期における売上寄与は小さいと考えています。(佐藤)

Q3. 金融支援事業の貸倒関連費用に関して、昨年3Q以降は貸倒引当金の戻入が継続して発生しているが、昨年第2四半期のように貸倒関連費用が発生するリスクは無いと考えて良いでしょうか。

A3. ご認識の通りです。当期第1四半期は貸倒引当金の戻入が発生しており、第2四半期以降も同水準で推移すると考えています。大規模な請求書買取も現状は予定しておらず、貸倒実績率も意識しながら事業運営に取り組んでおります。(五十島)

以上